

1人1台端末導入に向けた、本市の取り組み

【小中学生 1人に1台ずつ、ICT 端末が整備されます！】



2019年12月、文部科学省は、「GIGA スクール構想」を打ち出しました。GIGA スクール構想とは、「児童生徒向けの1人1台端末と高速大容量のネットワークを一体的に整備し、子どもたちを誰一人取り残すことなく、個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる」という構想です。

大和市においても、1人1台端末の良さを最大限に生かせるよう、環境整備を進めていきます。

- 子どもが端末をすぐ手に取って、様々なシーンにおいて積極的に活用できるようになります。
- 子ども同士、子どもと教員が、双方向にアクセスすることができます。
- 必要な情報にアクセスすることができ、学びが広がります。

【利用するサービス】

～Google のクラウドサービス～

G Suite for Education のサービスは、インターネット上（クラウド）で動作するものです。

〈Google クラウド活用の利点〉

- ・データが端末上に保存されないため、万が一紛失した場合でも安心です。
- ・インターネットにつながる端末があれば、家庭からもデータを利用することができます。
- ・G Suite 内で保管されるデータを、Google 社が利用することはありません。

データはクラウドへ



【教育用ツール】

～G Suite for Education～

市立小中学校では、学習用端末として「Chromebook (クロームブック)」を導入します。Google 社が提供している ChromeOS を搭載している端末で、「G Suite for Education」(G Suite) を活用して学習に取り組みます。

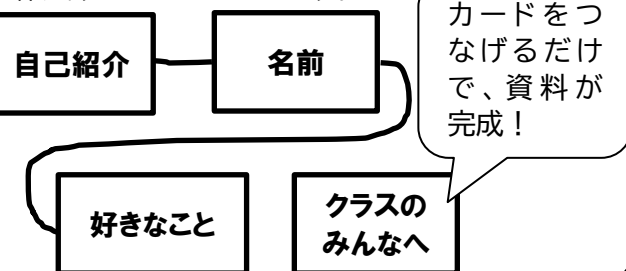


各教室で、Chromebook を保管します！

【導入ソフトウェア】

～ロイロノート・スクール～

思考力・プレゼン力を育成するソフトウェアです。児童生徒が簡単にプレゼン資料などを作成することができます。



神奈川県内をはじめ、多くの高等学校でも導入している Chromebook。児童生徒のさらなる学びに向けて、「G Suite」や「ロイロノート・スクール」を活用していきます。